

電子系  
Custom Parts  
その4  
これに注目!



電子の力で、こわいサビから愛車を守る



海岸側の塩害は想像つくが、海から離れた雪国では融雪剤がサビを誘発する。厳しい環境下にはヘビードューティタイプを。



作動しているかどうかは、オレンジ色に光るLEDランプで、いつでも確認。本体のココを見ればわかる。



3 ラストストッパーの装着は、あっけないほど簡単。要はバッテリーとアース線をつないで、バルス線をボディに取り付ければおしまい。1.まずは、本体から伸びる赤色の配線を、バッテリーのプラスターミナルに接続する。2.次に、黒色の配線を、バッテリーのマイナスターミナルに接続する。3.最後に、クリア皮膚のバルス線を、ボディの金属部分(車種により、配置箇所は異なるが、例えば、エンジンルームやシートレールのボルト部分など)に装着すれば完了だ。

### 電子サビ防止装置ラストストッパー (レギュラータイプ)

To Fit (<http://www.to-fit.co.jp/>)

発売以来20余年、改良を重ねられてきた電子サビ防止装置ラストストッパー。塗装でサビを防いでも、直射日光で塗装自体が劣化するのには仕方ない。走行中に小石が飛んでくるのも、海岸線を走れば潮風にさらされるのも仕方ない。しかしそれらをサビへと進行させない方法がある。電子サビ防止装置ラストストッパー(22,000円(税別))はバッテリーから断続的に電子を送り、その働きで腐食を抑制する。取り付けは、本体のアース線をバッテリーにつなぎ、バルス線をボディに付けるだけ。12V全車対応、本体のLEDランプで作動を確認、バッテリー上がりを防ぐオートプロテクト機能付き、防水タイプでメンテナンスフリー。

カスタマイズの  
キモは  
ここに注目

### プリウスのトランクルームにスッキリ設置!

プリウスの場合は、バッテリー自体がトランクルームに配置されているので、本体も、必然的にトランクルームに装着することになる。ラストストッパーは、付属されているマジックテープで、バッテリー付近に簡単に取り付けられる。ただし、動作確認がいつでもLEDでできるように、見えやすい位置に付けよう。



今回はテールランプ下のバッテリーの奥に本体を設置してみた。作動確認もしやすい。

取り付け1分!  
配線不要!



電子系  
Custom Parts  
その5  
これに注目!

盗難から大切なプリウスを守る!



セッティングも簡単。ステアリング上部に本体をセットして、付属の本体用キーでハンドルをロックすることでセキュリティがオンとなる。



車両に異常があった時、報せてくれるリモコンの受信範囲は約1000m(見通し)。自宅近くの駐車場など、狙われやすい夜間も安心。

### ステアリングロックアラームII (リモコン付)

To Fit (<http://www.to-fit.co.jp/>)

純正セキュリティの進化は間違いないが、盗難の手口も巧妙になり、イタチごっこ状態。対抗策として高機能セキュリティを組み合わせようがお勧め。ステアリングロックアラームIIリモコン付きは、ロック中ハンドル上で青色LEDが点滅。セキュリティが万全なことを視覚に訴えれば、触られる可能性も低くなる。万一、何らかの衝撃、異常を本体内蔵の高性能気圧センサーが感知すると、100dbの警告音を発すると共に、ボケベルタイプのリモコンへ緊急連絡が入る。高性能リモコン(ページャー)は異常状況がひと目で分かる画面表示と、アラーム音またはハイブレーションで報せてくれる。



電子系  
Custom Parts  
その3  
これに注目!



ヨーロッパでよく見かける、隙間なく縦列された路駐車両。中世そのままの狭い路地に停める難しさと常に対峙するイタリア人が、To Fitとコラボして誕生したのがこのバックセンサーだ。

穴あけ加工不要、外観は変化なし、でもバック駐車を3段階の音で強力サポート



1.アルミセンサーテープをバンパー裏に付けるためリアバンパーを外す。2.テープ装着前に装着面を脱脂。3.テープの長さを車両サイズに合わせカット。取り付け場所はバンパー上部、ボディ金属面から約3cm離すのがベスト。4.センサーテープに配線を装着。5.配線をトランク内のサービスホールから室内に引き入れる。6.バックランプのプラスを検電器で確認。7.エレクトロタップなどを使用しプラス(赤青線)に結線。8.マイナスはボディアース部に装着。9.センサーテープ、バックランプ、マイナスの各線をユニット本体に接続。10.プザーはなるべく車両後部に付ける。運転者が目視で後方確認してから作動を確認、バンパーを戻し作業終了。

## アシストバックセンサー プザータイプ

To Fit (<http://www.to-fit.co.jp/>) 価格: 18,000 (税別)

新車で感覚に不慣れな時のバック駐車は、ドキドキもの。ぶつめた時のショックと言ったら…。そんなドキドキは、このアシストバックセンサー プザータイプ(18,000円(税別))で解消。狭い路地で駐車の悩みを抱えるイタリア人が発想、日本の道路事情に合わせてToFitとコラボしたパーキングセンサー。バンパーに穴あけ加工なしで装着、感度調整機能付き。仕組みはアルミセンサーテープをバンパー裏に貼り、電流を流すことでセンサーとなる。(電磁波を利用するためスチール製バンパーにはモールディングタイプを用意。)センサーは車両から障害物までの距離、60~70cmから3段階で反応。バック駐車時のアシストが快適に!

カスタマイズの  
キモは  
ここに注目

障害物の存在をビジュアル化する  
アップグレードバージョンもあり

アシストバックセンサーは、プザーと距離表示液晶ディスプレイで、3段階の音&光で障害物との距離を教えるもの(24,000円(税別))も。センサーテープはバンパー裏、ディスプレイは室内の視やすい所に装着。ギアをバックに入れると「ビボバ」と作動。

